

次世代学園都市ゾーンの目指すまちの姿

イノベーションを創造し、世界から起業家や研究者が集まる持続可能で成長するまち

「広島大学周辺地区」と「吉川地区」の異なる特徴を持つ拠点間の連携を強化することにより、「次世代学園都市ゾーン」として一体的なイノベーション環境を創造します。

1

広島大学周辺地区

広島大学キャンパス

大学と地域の多様な交流と実証実験の場

- ・広島大学の未利用土地を活用し、大学と地域の接点となる新たな機能を検討するとともに、キャンパスをイノベーション創出の拠点とすることを目指します。
- ・広島大学スマートシティ共創コンソーシアムが中心となって、キャンパス内での新技術の実証実験を蓄積し、市街地への展開を目指します。
- ・大学と地域との関係性を深め、研究フィールドの確保、学生の教育機会創出、地域貢献人材の育成を促進します。
- ・多様な学生・研究者や異なる研究分野の「共創」、地域・産業界との「共創」を促進するイノベーション創造スペースの設置を検討します。
- ・大学と周辺の拠点との連携を促進する公共交通ハブとしての機能強化を図ります。

既成市街地(ブラウンフィールド)

リノベーションによるダイバーシティのまちづくり

- ・既存ストックのリノベーションなどにより、現在の「学生街」から多様な人材が集まるダイバーシティを意識した「大学街」へと進化することで、ニーズに合致する新たな価値を創出します。
- ・産・学・官・民が連携し、環境負荷の低減やエリアの賑わいづくり、交流促進など、ソフト面のまちづくり活動を展開します。
- ・大学生や留学生と企業や地域との交流を促進し、卒業後も定住したくなるまちづくりを目指します。

新市街地(グリーンフィールド)

イノベーションを創出するスマートシティ

- ・次世代学園都市を象徴する近未来型のスマートシティを形成します。
- ・多様な用途、人々が交じり合う高質な都市空間を実現し、世界の若者や研究者(起業家)に選ばれるまちを創造します。
- ・企業の研究開発拠点やオフィスを誘致し、頭脳循環都市を目指します。
- ・次世代の交通体系を導入し、環境負荷が低く、思わず歩きたくなる人を中心としたウォーカブルなまちづくりを行います。
- ・暮らしのサードプレイス(※5)となる自然豊かな都市環境を創出します。
- ・今後増加が見込まれる半導体関連の研究者などの生活拠点として、ゆとりと魅力のある多様な居住環境を創出します。

※5 サードプレイス：家庭や職場以外の居心地の良い場所。

コラム

県内初！

広島大学周辺地域が環境省の「第5回脱炭素先行地域」に選定

脱炭素先行地域とは

2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、先行して脱炭素の取り組みを実施する地域

【取り組み】

- ・2030年までに、太陽光発電設備や蓄電池の導入などにより、下見地区の脱炭素化を目指します。
- ・既存の集合住宅に、太陽光発電設備・蓄電池を組み合わせたエネルギーマネジメントを実施し、一括受電サービスの提供を目指します。あわせて、空調器や給湯器の更新を行い省エネ化を推進します。
- ・既存の戸建住宅には、太陽光発電設備及び蓄電池のリースサービスを展開します。
- ・東広島運動公園駐車場などの屋外スペースを活用し、太陽光発電設備を導入します。施設の自家消費電力を賄いつつ、余剰電力は既成市街地へ供給します。



2

吉川地区

半導体を中心とした先端産業の集積

- ・半導体産業の振興を図るため、市営産業団地の整備や、道路などのインフラ環境整備を行います。
- ・半導体サプライチェーンの強靱化に向けた関連産業の集積を図るため、戦略的な企業誘致を行います。
- ・市内企業と広島大学との連携強化により、産業イノベーションを創出するとともに、最先端の半導体技術の研究開発を担う高度人材の育成を推進します。

田園景観と居住環境が共存したまちづくり

- ・半導体産業や関連産業の集積により、外国人を含めて従業者の増加が想定されるため、現在の田園景観を保全しながら、緑豊かなゆとりある居住環境と共存したまちづくりを進めていきます。

